

はっぽう

議会だより

まだまだ元気です！(ことぶき大学運動会)



9月
定例会

- 定例会ダイジェスト…………… 2ページ
- 決算特別委員会質疑・付帯意見…………… 4ページ
- 一般質問 目次…………… 6ページ
- 一般質問…………… 7ページ
- 次回定例会予定・傍聴について…………… 13ページ
- 四方八峰・編集後記…………… 14ページ

四方八峰

地域活性化組織 **Teamガンバルベ石川**

(町を元気にする団体紹介シリーズ)No.2

会長 福士 保洋

人口の減少と少子高齢化が進み、地域コミュニティが希薄化する現状に歯止めをかけようと、石川地区では住民有志が「地域活性化組織Teamガンバルベ石川」を立ち上げました。

集落運動会の代わりとして始まり、平成11年から隔年で開催されている秋祭り「石川フェスティバル」の実行委員会を母体とした任意組織で、6月に行われた設立総会では、会長に福士保洋さんが選任されました。会員は59名で、活動時に協力する登録サポーター64名と併せた計113名により構成されており、地域住民の親睦を深め、賑わいの創出や環境保全、伝統の継承など、地域コミュニティの維持継続を活動の目的としています。

そしてこのたび、新組織が主催して初めての「石川フェスティバル」が開催されました。地元石川集落に暮らす人々たちによるバンド演奏や踊りなどが披露されたほか、在住するJA秋田やまもとベトナム人女性技能実習生

との交流や、石川生産森林組合50周年を記念した女装コンテストなどが行われました。フィナーレでは、地元企業や農家から提供された景品を目玉とした大抽選会が行われ、季節はずれの猛暑の中で、300名を超える来場者と「手作りの秋祭り」を最後まで楽しみました。

この石川地区には、子育て世代の若者が多く暮らし、伝統ある「石川駒踊り・奴踊り」や消防団活動のほか、地元名物の「石川そば」を支えるそば栽培やネギ・キャベツ・施設園芸やしいたけなどの生産に意欲的に取り組む農業後継者も多く、さまざまな分野において幅広く活躍しています。

昭和38年の「石川大火」による被災を乗り越え、復興を果たした石川地区住民の「みんなでがんばる」気質を土台とした今回の組織立ち上げにより、今後も石川地区を拠点とした地域活性化が大いに期待されます。

(取材 皆川)



編集後記

実りの秋を迎え、収穫作業に携わっておられる方々、本年の手応えは如何でしょうか。春は水不足に悩まされましたが、大きな台風や災害もなく平穏であったように思います。さて、この度全国町村議会広報研修会に参加する機会を頂きました。全国町村議会広報コンクールにおいて、数多くの出点の中から上位入賞された団体の広報を参考に、その評価やポイントが説明されるなど大変参考になる研修でした。

読者目線に立って、手に取って読んでもらえる広報、情報を解りやすく伝える広報作りは今後も更に努力していきます。

(記 皆川鉄也)

- 議会広報編集委員会
- | | |
|------|----|
| 委員長 | 皆川 |
| 副委員長 | 笠原 |
| 委員 | 山本 |
| 委員 | 山本 |
| 委員 | 良優 |
| 委員 | 悦人 |
| 委員 | 鉄也 |
| 委員 | 吉範 |

9月 定例会 ダイジェスト

今9月定例会は9月4日(水)から13日(金)までの10日間開催され、条例制定や改正、一般会計及び特別会計の決算や補正予算等の議案33件が上程されました。そのほか、陳情2件を審議しました。

一般質問では、6人が登壇し、町政をただしました。



秋田市新屋への地上イージス配備反対の意見表明を求める陳情時の採決状況

冬期観光宿泊助成事業予算を可決

(令和元年度一般会計補正予算(第2号))

補正予算の内容

町内宿泊施設9か所が冬期間(1月・2月の2か月間)の宿泊客数の落ち込み対策として、宿泊客に1泊1名又は1室あたり2千円を助成し、かつ、ハタハタ館及びあきた白神温泉の日帰り入浴を無料で提供する。

事業実施に係るクーポン券作成費、広告料及び補助金合わせて272万1千円

議会から町へ(質疑)

質問 この事業は初めての事業、だと思うが、対象になる施設は。

答弁 この事業は今回初めて実施するものである。

対象となる施設は、三四郎旅館、あきた白神温泉ホテル、八森いさりび温泉ハタハタ館、民宿いがわ、農家民宿観海荘、農家民宿花みずき、民宿十三夜、CRANDS、ポンポコ山公園バンガロー村の9施設である。

再質問 この事業は、町主導で冬場何とかしたいからということではなく、民間から声が上がったというふうに捉えていいの。

答弁 この事業は、観光協会が最初、宿泊施設に声掛けて「宿泊部会」というものを開催し、その中で、夏場はいいが冬期になると客数が減ることが共通の課題となり、町の魅力である温泉と、日本海のハタハタやタラなどの美味しい食を組み合わせて冬の誘客も進めないといけない、という話から始まった。2つの温泉施設からは日帰り入浴の無料提供の話があり、民間の頑張りにも積極的に応援したい。また、宿泊の助成クーポンでこういった結果になるか、

町の冬場の観光を考える材料になるのでこの事業を立ちあげた。

(全員賛成で可決)

人権擁護委員2名の推薦を同意

提案理由

令和元年12月31日で任期満了になることから引き続き人権擁護委員の候補者として法務大臣に推薦するため。

● 武田ムツ子氏(畑谷・再任)

● 金谷由紀子氏(岩館2・再任)

(全員賛成で同意)

請願・陳情

秋田市新屋への地上イージス配備反対の陳情及び決議文を採択

(提出者 ミサイル基地イージス・アシヨアを考える秋田県民の会 代表委員代表 川野辺英昭)

陳情に反対します

山本 新屋に配備されるというだけで、この防衛システムイージス・アシヨアに反対することは、日本国民として国防に対する無責任感が出ている。

この陳情は、新屋以外ならいいとも取れる内容であるため反対である。

陳情に賛成します

見上 このイージス・アシヨアの膨大な防衛費というのは、トランプ大統領と約束を交わしてきたものであって法的な根拠はない。安倍首相はその莫大な国民の負担を強いる予算の中でこ

れをやるうとしてしている。これをまず止めなくてはならない、必要がないということで賛成をする。

須藤 このイージス・アシヨア配備は別として、今現在、国が考えている秋田新屋地区に配備すること。あの国有地の周辺には新興住宅が広がっている。そして小学校も中学校もある。周辺の方々は大変な心配をしている、そのように心情を察する。

もし、戦争が万が一起きた場合、このイージス・アシヨアはどのくらいロケットを打ち落とせるかは防衛機密で発表されていない。それを考えた時絶対新屋に配備することは反対である。

菊地 国の配備に対する誠意ある対応というものに裏切られてきた。そういう状況の中でこの前あった選挙(参議院議員選挙)でも少なからず影響があった。これはもはや県民の課題と言っても過言ではないと思う。

仕切り直しとも言えども全くもって誠意がない、そういう状況の中では、新屋というものを、要するに秋田県というものに対する配備というものは私は否定したい。そういうことからこの陳情には賛成をする。

(賛成多数で採択)

● 新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について

(提出者 秋田県山村・過疎地域振興協議会会長 佐々木哲男)

内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣に意見書を提出

(全員賛成で採択)

賛否が分かれた議案・陳情の採決結果

○：賛成 ●：反対

賛否が分かれた議案・陳情を掲載しています。その他の議案はすべて全会一致で可決されました。

	水木壽保	山本優人	奈良聡子	腰山良悦	須藤正人	芹田正嗣	見上政子	菊地 薫	笠原吉範	芦崎達美	皆川鉄也	門脇直樹	議決結果
八峰町簡易水道給水条例の一部を改正する条例制定について	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	議長は採決には加わりません	可決
八峰町公共下水道管理条例の一部を改正する条例制定について	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○		可決
八峰町農業集落排水施設条例の一部を改正する条例制定について	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○		可決
八峰町漁業集落排水施設条例の一部を改正する条例制定について	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○		可決
八峰町合併処理浄化槽の整備に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○		可決
八峰町営診療所使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例制定について	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○		可決
八峰町保育所条例の一部を改正する条例制定について	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○		可決
平成30年度八峰町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○		認定
平成30年度八峰町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○		認定
平成30年度八峰町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○		認定
平成30年度八峰町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○		認定
秋田県新屋への地上イージス配備反対の意見表明を求める陳情	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		採択
秋田県新屋への地上イージス配備に反対する決議文の提出について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決

ここが聞きたい!

平成30年度

決算審査報告

質疑

平成30年度の一般会計及び各種特別会計について町政全般にわたり、数多くの質問が出ました。

2分科会で審議し、原案認定しました。抜粋してお知らせします。

問 「住まいづくり応援事業」は計画どおり実施されたのか。また、今後も継続するのか。

答 11月には申請額が当初予算額に達しており、計画どおり執行された。

事業は、3年は継続し、状況に応じて事業の見直しを検討したい。

問 ICT先進町であることから、視察件数が多いと思うが、教員の負担になっていないか。視察件数を精査して、負担にならないように配慮を。

答 正直なところ、現場教員の負担になっている意見は聞いている。

問 生薬に関して、龍角散から寄附金3000万円の残高は、

寄附金に頼らずに生薬栽培を推進するための対策が必要では。

答 機械等の購入に充て、現在約800万円である。

今後とも試験栽培を継続し、単収増等栽培方法を確立させ、生産者への指導普及を図っていく。

また、面積の拡大については、農薬等の飛散の恐れがない山間地等での栽培も検討していく。

問 ファガスのエレベーターが現在故障のため使用禁止になっているが、今後の予定は。

答 部品の供給が停止されているため、



キキョウ栽培実証試験圃場を視察

リニューアルすると2000万円程度かかることから、1か月程度利用者の調査を行ったところ、利用者がいなかったため使用停止とした。

問 キャンプ場の利用が多く、収入もあるの考えはないか。

答 キャンプ場の利用料が200万円程度あるが、キャンプ場に係る管理費も収入以上に

掛かっている。サイトの面積も広いので、芝刈り、草刈り、庭木の剪定など作業も広範囲に広がる。

問 大館能代空港利用補助金について、年々増加しているが将来的に際限なく、続けていくのか。

答 平成23年から実施している事業になるが、年々町民への周知が広がり利用が増えてきている。昨年度に比べても予算を増額して対応している。新幹線の利用だけでなく、飛行機の利用のメリットもあるので、能代山本1市3町で話し合っている。なければならぬと考えている。

問 あきた白神体験センターについて、地域

(自治会)等に足を運んでPRするなど、少しでも収入につながるような取り組みは。

答 春の行政協力会議の場において、レクレーション、会議など利用をお願いしている。少子化が進み受入児童数が少なくなること、

大きなイベント等がない限り収入が落ち込むと推測されるが、今後必要であれば足を運んでPR活動に努め、少しでも集客に繋がるよう頑張っていきたい。

問 介護保険料の未納者にはペナルティはあるのか。



更なる利活用の取り組みを

答 未納のペナルティとしては、10%の介護サービス利用料が30%負担となる。

問 地籍調査は終了するのか。その後、山林等調査するのか。

答 町としては調査は今年までで、来年度は残務整理を予定している。

決算に対しての議員からの意見

平成30年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算の審査では、議員から様々な意見や要望が提案され、議会終了後、町長に付帯意見として提出しました。

その意見をご紹介します。町からの回答については、次号の議会だよりに掲載します。

意見1

地域おこし協力隊が

応募しやすい環境を

地域おこし協力隊募集にあたっては、各課の課題を出し合い、その必要性の優先順位により、具体的な活動内容を絞って募集をかけ、応募しやすい環境を整えること。

意見2

早急にハタハタ館の

赤字解消策を

ハタハタの里観光事業(株)は2年連続で多額の営業赤字を計上しており、経営が大変厳しい状況となっている。早急に抜本的な経営改善策を講ずること。

意見3

峰浜培養の経営改善及び

原料のコスト削減と

安定供給の確立を

(有)峰浜培養のキャッシュフロー(※)の改善を図ること。また、ホダ製造コストの削減と安定的なオガ粉の供給体制を確立すること。

※キャッシュフローとは：お金の流れを意味し、実際に得られた収入から外部への支出を差し引いて手元に残る現金等の流れ



経営改善が求められるハタハタ館

町長 ハタハタ館では、それすらもやられていなかった。一歩ずつ改革を進めていかなければならない。

笠原 民間の会社であれば、どこでも当たり前にやっている事。それを「これまででない考え方」としているが、その程度の改善策で改革できるのか。

町長 各部門の目標設定と経営状況の共有、団体客の取得やメニューの見直し、SNSやホームページのリニューアル、多彩なイベント等により難局を乗り越えていく。

笠原 2年連続で赤字を計上したことに対し、「これまででない考え方を取り入れ改革を実現する。」としているが、その具体策は。

町長 民間の会社であれば、どこでも当たり前にやっている事。それを「これまででない考え方」としているが、その程度の改善策で改革できるのか。

町長 改革の司令塔となるべき館長が宴会や設備管理など多くの現場を担当して多忙を極める状況にあった。常務の人員に当たっては町の産業振興や企画財政、総務等の各課長職を歴任し、ハタハタ館のことをよく知り、館長や各部門のチーフの信頼もあることから適任者として採用した。

笠原 そんなに時間をかけている余裕はあるのか。大胆な改革がすぐにも必要では。4月から館長の上に「常務」という新たなポストを設け適任者を採用したとしているが。



笠原 吉範 議員

町長 提案は理解できるが、高い報酬を支払わなければならぬなどの問題がある。

笠原 経営改善には官より民の考え方や行動力が不可欠。公募による社長選出など、民間から経営手腕のある人物を社長にすべき。

笠原 報酬のない社長だから改革出来ないのでは。報酬以上の業績を残せる人物を社長に選出すべき。

町長 今後、取締役会で協議していきたい。

町長 民間の会社であれば、どこでも当たり前にやっている事。それを「これまででない考え方」としているが、その程度の改善策で改革できるのか。

笠原 報酬のない社長だから改革出来ないのでは。報酬以上の業績を残せる人物を社長に選出すべき。

ここが聞きたい

ただ 町政を質す!!

6人の議員が一般質問

一般質問では6人の議員が町政について質問しました。

p7 笠原 吉範 議員
1 「ハタハタの里観光事業株式会社」の経営改善について

p8 見上 政子 議員
1 風力発電が町民に与える影響について
2 保育料の無償化について
3 里山対策について

p9 山本 優人 議員
1 道徳教育について
2 空き地の草対策について

p10 腰山 良悦 議員
1 今後の観光振興について

p11 皆川 鉄也 議員
1 人口減少について

p12 芦崎 達美 議員
1 廃校の旧埴川小学校の利活用について
2 廃校を利用しての福祉施設について

一般質問とは？

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町政執行における所見や疑義について質問できるものです。
本町では、効率的な議会運営のため質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」とし、議員はその内容に沿って質問します。
質問時間は1人につき質問答弁を含め55分以内で完了することとしております。再質問からは、一問一答方式が採用されており、時間内であれば何度でも再質問ができます。

誰でも傍聴できます。団体の場合は事前にご連絡下さい。

風力発電の影響と 法定協への姿勢は

町長 懸念払拭すべく 意見述べる

見上 八峰沖く能代沖で計画

中の洋上風力発電の風車は、単基出力9MW（メガワット）、高さは能代火力の煙突と同じくらいである。巨大風車の建設で海の生態系等への影響がないとは決して言えない。漁業者が立ち行かなくなるのではないかと。今後法定協議会が設置された場合、町民の代弁者としてどのような心積もりで臨むのか。

また、総出力7.5MW以下の風力発電事業や小型風車等、環境アセス（※）対象外の陸上風車が乱立している。町独自のアセス、条例、規則が必要ではないか。

町長 洋上風力については従来言及してきた通り、住民の暮らしや漁業に影響を及ぼさず、自然環境や景観に配慮した計画であることを基本としている。今後法定協議会が設置されることになった段階で、懸念される事項がある場合は、懸念が払拭されるよう意見を述べていく。

陸上小型風力発電については、FIT（※）による固定買取価格が年々下落していることから、事業者の参入は少なくなると見込んでいる。今のところ新たに条例を制定する考えはないが、他市町の動向を注視しながら柔軟に対応していく。

※環境アセスとは：環境への影響を事前に調査することによって、予測・評価を行う手続きのこと。

※FITとは：電力会社に再エネで発電された電気を一定期間、固定価格で買い取ることを義務付けた制度。

交付金活用し 未満児保育無償化を

町長 来年度当初予算に 向け検討

見上 10月から保育料が無償

化されるが、対象は比較的経費がかからない3歳児から5歳児までだ。当町は以前から3歳以上児の保育料が無料のため、この制度で保護者に新たなメリツトは生まれない。お金が一番かかる未満児保育の無償化や、多胎児の補助、完全給食等に、交付金を活用してはどうか。

町長 当町は保育料を、平成27年度から令和2年度までの6年間、3歳以上児は全額、未満児は半額免除とする子育て世代の負担軽減策を実施しているところだ。少子化が急速に進んでおり、子育て世代の更なる負担軽減と子育て環境の一層の充実のため、来年度当初予算に向けて全園児の保育料無償化を検討していく。

里山対策についても質問がありました。



管理がされていない空き地

空き地の除草経費に助成を

町長 支援策を検討する

山本 近隣の空き地の増加に

より雑草が生い茂り、無許可でありながらもやむを得ず草刈りしなければならないことがある。地域の生活環境の改善のため自治会内の空き地の除草経費を助成して、きれいで環境の良い町づくりをする考えはないか。

町長 全ての空き地を対象とするのではなく、所有者と連絡が取れないケースや所有者が遠くに住んでいて管理できないケースなど、対象を絞って支援策について検討したい。



山本 優人 議員



3歳未満児も保育料無償化を！



見上 政子 議員

道徳教育の求めるもの 教育長 体験教育が重要

山本 近年、さまざまな心の人間による残忍な事件が多い。成長期に親にも他人にも先生にも怒られず、体罰を受けず、他人に危害を加えた時、相手に与える傷害の認識や想像ができないためだ。子育て環境は、少子化の進行により子供の数が減少し、子ども同士で遊ぶ機会が少なくなり、子どもの仲間関係や規範意識の形成など発達に影響する。また、核家族で地域との繋がりが浅くなり、子育ての知識や方法の未熟なままの子育て、さらに共稼ぎによるストレスなど家庭教育環境は厳しい状況にある中、道徳教育にあたって家庭と学校に何を求めているのか。

教育長 家庭教育は全ての教育の出発点であり、子どもにも基本的な生活習慣を身につけさせることが重要だ。例えば家族内での挨拶、毎朝朝食を食べる、早寝早起きを心がける、手洗いの習慣付け、学校での出来事を親子で話し合ったりテレビやゲームの時間やルールを決める等、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図り、「生きる力」の基礎的な資質や能力は家庭において培うことが大切である。町ではコミュニケーション・スクールの取り組みとして、学校・家庭・地域が協働で子どもたちの体験活動を推進し、地域住民との交流を図ったりしており、道徳性を高める上で大変有効であると考

えている。

観光振興を図れ

町長 御所の台活用 検討会を設置

腰山 町では色々な観光イベントを行っているが、普段の誘客に結びついていない。イベントはあくまでも手段であって目的ではない。町には世界自然遺産白神山地を見渡せる「二ツ森」やジオパークがある。海岸線の景観も素晴らしく、ハタハタやアワビなど新鮮な海の幸もある。まだまだこれらを十分に生かされていない。

入れ、特産品を充実させる必要がある。町の考えは。

町長 ニツ森登山や留山散策をはじめ、白瀑や真瀬溪谷三十釜などのジオサイト巡りに加え、そば打ちやパン・豆腐づくり等、多様な体験が可能であり、ハタハタ館やポンポコ山公園、御所の台ふれあいパーク等を活用した観光コースづくりなど、魅力ある観光資源がたくさんあると考えている。しかし、これらの資源を十分生かされていないのも事実であり、多様化している観光客のニーズを踏まえれば、広域観光の推進が大変重要と考えている。

また、今年度において、「御所の台エリアの利活用に関する検討会」を設置・開催することとし、効果的な整備計画について協議する。特産品開発については、「八峰町地域産業活性化専門家招聘事業」を創設し、講演会やセミナーの開催をはじめ、商品の製造、販売方法などに関するアドバイスを受けることにしている。

これからは体験型観光のニーズが高まる。農業・漁業などの体験メニューを充実させ、官民一体の取り組みにより積極的な受け入れ体制を整える必要がある。



ニーズが高まっている体験型観光（留山）



桜、ツツジの時期以外にも魅力ある公園に（御所の台）



腰山 良悦 議員

人口減少どう食い止める

町長 諸施策の強化を図る

皆川 高齢者の核家族化が進み、更には団塊の世代が間もなく後期高齢を迎えるなど、今後益々高齢者が増加し、介護を必要とする人が増えることが予想される。現在施設入所を希望している待機者は何名いるのか。併せて今後の見通しは。

らない問題であり、日頃からの健康づくりと介護予防活動が重要なことからこの活動を強力に推進していく。

町長 現在、特別養護老人ホームの待機者は24名となっている。

皆川 空き家が増え、一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦世帯も増加傾向にある。社会構造が大きく変わった今、定住に必要な後継ぎをどう確保するつもりか。

65歳以上の人口は減少傾向にあり、また介護等が必要になりやすい75歳以上の実数は、今後横ばい状態で推移し、その後減少が見込まれることから松波苑と海光苑及び町内のグループホームで十分対応が可能である。

町長 指摘のとおり、一人暮らしや高齢者世帯の増加の原因は後継ぎ世代の町外流出にある。近隣市町村及び首都圏への人口流出に歯止めをかけるため、「八峰町まち・ひと・しごと創生総合戦略」などで定住促進を図り、今後より一層強力な施策を打ち出す必要がある。

介護の問題については、寝たきり等になる方が増えなければ起

は、寝たきり等になる方が増えなければ起



高齢者の核家族化により益々特養等のニーズが増えると思われる

皆川 若者が都会に流れ、故郷に帰って来ない時代にあつて、地場産業の大切さや親子のつながり、人と人、地域とのかかわり等、学校現場において、町に残るような道徳教育が必要ではないか。

教育長 道徳教育では、身近な友達や周囲の人への思いやりの心やお世話になっている人への感謝の気持ち、家族を大切にする気持ち、故郷を愛する気持ち等を教育している。

小・中学校ではコミュニティ・スクールを通して家族や地域の人たち、故郷と関わる体験活動を行っており、このような取り組みを通して、故郷のよさや課題を体験的に学ぶことが有効と考えている。



皆川 鉄也 議員

旧埴川小利活用計画 経過と今後は

町長 農業関連の 活用具体化に期待

芦崎 平成28年3月の閉校以来、空き校舎のままになっている。この状況がもう何年続くのか。29年2月に利活用計画検討会の答申を受けているが、これまでの経過と今後についての考えは。

町長

平成29年6月議会の一

般質問で、東京生薬協会、北海道東川町への訪問及び行政視察を行い、校舎の活用を打診したが活用に至らなかったこと、町内の若手農業者や農業法人から利活用の問い合わせがあったが、具体的な申し出がなかったことを報告している。昨年9月議会の一一般質問では、「わら縄で編んだわら

網づくりに活用したい」という相談を受けたことに対し、貸与に向けた国への手続きを進めていることを報告した。その後国から承認を得たが、借入を申し出ていた法人から申し出の取り消しがあった。有効活用できるような文科省の「みんなの廃校プロジェクト」やホームページ等で広く募集を続けながら、現在相談を受けている農業関連の活用希望が具体化してくるのを期待しているところである。



現在、廃校となっている埴川小学校

廃校利用し健老者の 福祉施設に

町長 元気な町づくりの ため前向きに検討

芦崎

高齢者は自宅で生活す

ることが幸せと思うが、家族がいないために施設に入所するとか、日常生活に支障を生ずるようになると特養施設に入所させるなど、高齢者が幸せを感じないにも関わらず、多額の措置費が支出されている。高齢者が集まれる託児所ならぬ「託老所」を開設してはどうか。仲間といると寂しくないし、生活に張りも出る。特養施設と在宅ケアの中間的な存在として将来不可欠と思う。補助金の制度化を国や県に働きかける考えは。

町長

提案の「託老所」は、

元気な八峰町づくりに向けて掲げた重点の1つを実現する体制となり得る。前向きに考えたい。国や県への補助の働きかけは、モデル的な取り組みになるような計画としてとりまとめることに努めながら、計画が具体化した段階で要望する。



芦崎 達美 議員

次回開催予定について（お知らせ）

令和元年12月定例会開催日程は12月11日（水）～13日（金）の予定で、開会は10時からです。（終了時間については、議案数、一般質問者数、進行等によるため未定です。）

月 日	曜日	会議名	内 容
12月11日	水	本会議1日目	行政報告、議案審議、陳情・請願
12月12日	木	本会議2日目	一般質問（質問者の人数により休会の場合あり。お問い合わせください）
12月13日	金	本会議3日目	一般質問・付託議案の審議

議会では町民の生活に直結した重要な問題が審議されております。どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。また、団体での傍聴を希望する場合は議会事務局へご連絡ください。

議会も傍聴しませんか

●議会を傍聴するには？

議場入口に設置している受付票に住所、氏名、年齢をご記入の上、記入後の受付票を箱の中に入れてからご着席ください。団体でいらっしゃる場合はご連絡ください。

●傍聴にあたっての注意事項

1. 指定された出入口から出入りし、指定された座席にご着席ください。
2. 帽子等はお取りください。
3. 杖・傘及び棒類の携帯はできません。
4. 飲食・喫煙はできません。
5. 議席には入らないでください。
6. 公然と可否を表明したり、騒いだりして会議を妨げないでください。
7. 議場の秩序をみだす行為を禁じます。
8. 携帯電話をお持ちの方は音が鳴らないよう設定してください。

